

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 1 月 31 日

公表:令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 児童発達支援(重症心身)プレーメン碧海古井

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12		利用児全員を見渡せるオープンスペースになっており、活動スペースが広がるようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	12		1対1で子どもを支援できるよう、多めに職員を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12		トイレの出入り口に段差があり、バリアフリーにはなっていないが、気を付けるように常に声がけしながら配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12		おもちゃは毎日消毒し、洗えるものは洗っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12		定期的にミーティングを行っており、これからも内容にPDCAサイクルを盛り込んでいく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12		評価表を配布し、支援の質の向上に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12		ホームページで公開し、支援の質の向上に努めている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	7	自社グループの管理者同士で、定期的にミーティングを行い、改善点を話し合っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1	外部の専門家による研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得た情報を共有している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12		定期的に保護者面談を行い、ニーズや課題を確認している。面談に参加できない保護者に対しては電話でのヒアリングを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1	定期的に使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	1	保育士、看護師、理学療法士それぞれの立場から、子供の支援に必要な支援計画が立案されている。児童に対し適正に支援が行われているか会議を開き、改善を図っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12		児童一人一人の個別支援会議を3~6ヶ月に一度行い、個別支援計画書に記載された達成目標や支援内容を確認し、情報を共有している。支援計画の見直しを行い、発達に応じた支援内容に改善している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	保育士が中心となり立案し、月1回のミーティングでスタッフ全員で検討し、最終的なプログラムを決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		保育士が中心となり、日々保育内容を検討し、発達段階や季節感、ねらいなどを考慮し、活動を楽しめるよう工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12		活動プログラムの作成に当たっては、ひと月のなかに個別活動と集団活動を必ず取り入れ、集団活動に参加が難しい児童に対しては小集団活動から始めるなど工夫している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12		支援開始前に必ず保護者からの伝達や最近の様子などを報告する申し送りの時間を設けている。また、ミーティングの際に業務改善について議題を盛り込んでいます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2	打ち合わせの時間を設けているわけではないが、報告事項等あれば、必ずスタッフ間で情報共有している。大きな問題や連絡事項はミーティングにて報告し、情報共有している。困りごとはスタッフ間で共有し、お互いでアドバイスし合える環境を築いている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12		子どもたちの利用時の様子は必ず記録し、ミーティング時に振り返り、改善につなげている。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12		定期的に支援会議を開き、保育士、看護師、理学療法士、それぞれの職種 のスタッフから活発な意見交換し、各児童の発達段階に応じて支援計画を更 新している。
関係機 関や保 護者との連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	12		児童発達支援管理責任者が出席している。今後は状況に応じて、適任者も 出席していく予定。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者 や関係機関と連携した支援を行っている	12		必要に応じて、福祉、医療、子育て支援等の関係者の担当の方と連携をはかり ながら、支援をしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障 がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育 等の関係機関と連携した支援を行っている	12		必要に応じて、福祉、医療、子育て支援等の関係者の担当の方と連携をはかり ながら、支援をしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障 がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体 制を整えている	12		年に一度、医師の指示書を更新してもらっている。またソーシャルワーカーや 主治医と連絡をとり、情報を共有している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼 稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図って いる	7	5	移行時は担当者会議を開き情報共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共有 と相互理解を図っている	11	1	小学校、特別支援学校との情報共有を行っており、今後も直接的に連携を とっていく予定。
関係機 関や保 護者との連 携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援 事業所、発達障害者支援センター等の専門 機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1	外部の専門家による研修を受け、参加者は他スタッフへフィードバックし、得 た情報を共有している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が ある	1	11	施設近隣の方や、地域の方との交流をはかっている。今後、同年齢の児童と の交流の場を設け、刺激を受けられたら良いと考えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	8	今のところ活動を行っていないが、今後機会があれば積極的に交流できる場 を設けていきたいと考えている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	12		送迎時に保護者に声をかけている。必要に応じて、相談員の方にも共有して いる。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング等)の支援を行っている	3	9	定期的に保護者面談を行っている。
	保護者へ の説明責 任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っている	12	
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」のねらい及び支援内容 と、これに基づき作成された「児童発達支援 計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から児童発達支援計画の同意を得 ている	11	1	モニタリングや支援計画書を説明し、保護者に確認をしていただき、同意をい ただいている。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支 援を行っている	12		毎日の送迎時に保護者に声かけをし、話しやすい雰囲気をつくっている。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	10	保護者から交流の場が欲しいとの声があるが、実施できていない。
36		子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、相談や申入れがあつた 場合に迅速かつ適切に対応している	12		日々保護者からの連絡には、迅速に対応している。また保護者からの直接的 な相談がなくても、送迎時に些細な変化を確認し、スタッフ同士で共有してい る。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	6	会報等は作成していないが、毎日の送迎時に伝えており、月に一度配布す る、利用予定表でもお知らせしている。
38		個人情報の取扱いに十分注意している	12		鍵付き書庫にて保管している。また、スタッフの意識を高めるために、定期的 に研修を行っている。
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	12		日頃から保護者と積極的にコミュニケーションを取り、自分が行ったコミュニ ケーション内容をスタッフ間で共有し、日々改善している。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	3	9	今のところ行っていないが、今後機会があれば実施したい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11	1	緊急時対応のマニュアルを個別で作成しており、カルテにファイルしてある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	1	年2回避難訓練の実施を行い、避難場所の確認をし、その都度スタッフ間で、実施内容の反省事項を共有している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12		服薬や予防接種の確認は常に行っているが、年2回変更がないか母子手帳やお薬手帳にて確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		食物アレルギー等に関しては契約時にアセスメントしており、内容はスタッフ全員周知している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	2	ヒヤリハット作成して、ミーティング時に発表を行い、スタッフ全員で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1	虐待防止委員会を定期的に行い、職員の啓発に努めている。また外部講習を受けに行ったスタッフが講習内容を発表し、スタッフ間で共有している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	2	個別支援計画書に安全のために使用するベッド柵や座位保持椅子のベルトの私用などを明記し、事前に保護者から了承を得ている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 4 月 1 日

アンケート期間:令和 6 年 1 月 4 日~令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 児童発達支援(重症心身)プレーメン碧海古井 保護者等数(児童数) 12名 回収数 _____ 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12				活動スペース、設備など満足している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12				細やかにみてもらっているので、適切だと思う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11			1	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			1	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12				週変わりではいろんな活動を取り入れてくれているので、とても満足している。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11			1	普段なかなか行けない消防署見学に行ったり、スイーツ作りや季節に合った行事など色々な体験をさせてもらっている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		3	5	コロナ禍の影響で、まだまだ難しいと思う。
保護者への説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12				
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	1	1	3	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2		1	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5		4	3	コロナ禍で難しいかもしれないが、保護者会開催を希望している。

等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11			1	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12				送迎時に、その日にやる事、やってきた事の説明が適切に行われている。連絡、報告などしっかりやってくれていると思う。行事や活動も、状況を見つつ対応してくれるので助かっている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10			2	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11			1	訓練を実施した連絡や報告書もあり、実際にやった時の状況説明などもあり、安心している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			1	防犯・防災訓練など実施前後に連絡して下さっている。自分も少しでも学びたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12				帰宅後はいつも満足そうな顔でニコニコしてくれている。ブレーメンに通った日は、帰宅後、声を出して笑ったりして、笑顔が増えている。
	23	事業所の支援に満足しているか	12				先生たちのおかげで日々成長しているのを実感している。とても満足している。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。